

令和5年4月9日執行

山形県議会議員選挙

山形市選挙区

選挙公報

山形県選挙管理委員会

ママ世代! 市議4期の経験と実績 豊かな山形県へ

子育て支援に全力

だれもが輝けるまちづくり



将来世代の人材育成!

子どもたちの教育環境整備/山形独自の人材を育む特別教育/山形の魅力と伝統を次世代に継承/若者のキャリア教育推進

4

安心の地域医療と女性目線の健康支援!

安心できる地域医療体制を構築/高齢者の在宅医療の環境推進/不妊治療の支援と健康保持/発達障がい児の初診待ちを短縮

5

文化とスポーツで豊かな山形へ!

老朽化・未整備のスポーツ施設、文化施設の整備/独自の芸術文化の確立/伝統文化の継承・芸能の育成/県民の創作活動の充実

6

県土強靱化の促進!

高速交通網の不連続性解消と河川管理/防災トンネル事業化促進・山形新幹線の機能強化/社会インフラ老朽化の課題克服/豊かな県民生活実現のためのデジタル化推進

7

1 日本一子どもを産み育てやすい県へ!

出産世帯への応援給付金制度を創設/子育て支援の地域格差を解消/働く女性への支援/18歳までの医療費全額無償化/貧困と教育格差の解決

2 中小企業の稼ぐ力を高める産業振興!

山形県ものづくり戦略会議を創設/企業の育成と工業生産額を倍増/企業の県内誘致/関係人口経済圏の創出・拡大

3 豊かな農林業の再生!

農産物の品種改良・マーケティングの充実/収入保険加入への支援/親元就農への助成制度を創設/市産材の流通拡大と森林保全/農林業の高付加価値化と人材育成

昭和56年山形市片谷地生まれ・南山形小学校
第九中学校・山形北高等学校卒業
●平成16年 東北芸術工科大学環境デザイン学科卒業
●平成19年 山形市議会議員選挙に全国最年少で初当選(1期目)
令和元年より 山形市議会議員(4期目)



自由民主党公認

か伊藤 おり 41歳



もっと愛ある 県政を

まつい愛 プロフィール
昭和51年6月 山形市生まれ(46歳)

平成9年~ パリス文化服装専門学校 卒業
平成14年 不登校の子どもたちとかわる 手話を学び難者と交流
平成13年~ 不登校支援フリースペース SORA 運営委員
平成15年 県内初のフリースクール
平成15年~ 若者支援 NPO ぶらっとほーむ共同代表
平成31年 困難を抱える若者たちを支援
平成31年 山形市議会議員に初当選
現在 居場所と学びの場づくり NPO ぶらいず相談役



まつい愛の活動をフェイスブック・
ツイッター・インスタグラム等で発信
しております。ぜひご覧ください。



すべての子どもが安心して学べる学校

・不登校など、教育から疎外されがちな子どもたちを支援していきます
・学校におけるジェンダー平等を進めます
・NPOと連携し、校内での居場所づくりを進めます



多様性を尊重し、自分らしく暮らせる社会

・ひきこもりに悩む当事者や家族の孤立を防ぎ、相談しやすい環境をつくります
・障がいがある人が、住み慣れた地域で安心して暮らしていける支援を強化します
・LGBTQ+など、多様な性を生きたる人たちが、自分らしく生きられる社会をつくります



映像文化を活用した、新しい価値の創出

・フィルム・コミッション機能を強化し、世界から注目されるやまがたをつくります
・学校や公民館等にて、映像作品を用いた学びの機会を創出します
・誰もが映像文化に触れられるような環境をつくっていきます



社会全体で子育てしていける環境づくり

・子育てシェアの推進により、楽しみながら子育てができる体制をつくっていきます
・里親制度の広報や、里親の育成や支援を強化していきます
・不妊治療への助成を拡充していきます



多様な地域コミュニティづくりと活躍支援

・NPOや市民活動など、草の根の市民の力が発揮できる環境をつくっていきます
・若者たちや子育て世代、高齢者など、多様な人たちの居場所づくりを進めます
・文化芸術などの活動の拠点づくりを支援し、若者たちのチャレンジを支えていきます



まつい あい

物価高騰からくらし応援する県政に

石川渉プロフィール
○現在 党県常任委員、青田在住
○経歴 1973年生まれ。親の仕事で小4から中1までシンガポールで生活。山形大学工学部卒業。山形大学生協理事。泉原水爆禁止協議会理事。民青同盟県委員長を歴任。○趣味 ケーキづくり
○家族 子供3人、妻

山形から「岸田大軍拡」の審判を
○消費税は減税、インボイス中止を
○中小業者支援で最賃1500円に
○物価高に見合う年金アップを
○憲法9条いかにした平和外交を

高3までの医療費無料化状況(通院)
今年度から山形市、山辺町が入院のみ無料と遅れています。県の支援が必要です。
論戦力ある石川渉さんに仕事をバトンタッチ。押し上げてください。
県会議員 渡辺ゆり子

●高校卒業までの医療費ゼロ。
●子どももの国保税ゼロ。
●学校給食費ゼロ。保育料ゼロ。

●小中教員、学童保育指導員、保育士をふやし処遇改善を

●福祉灯油の継続と拡充

●交通弱者の通院・買い物支援

●農業、自営業者への振興策

●県の補聴器購入支援制度創設

●医療・介護・除雪の軽減

●勝共連合)と政治家との癒着、県議の海外視察復活に反対し県政・議会をテックします。ジェンダー平等、命・くらしを守る渡辺ゆり子県議の仕事を引き継ぎ頑張ります。お力をお貸しください。

私は、物価高で生活が大変なとき医療福祉、子育て、賃上げ、くらしの願い実現にがんばります。3人の子の親として「子どもたちが戦争に行く世の中に絶対にならない」決意です。統一協会(国際勝共連合)と政治家との癒着、県議の海外視察復活に反対し県政・議会をテックします。ジェンダー平等、命・くらしを守る渡辺ゆり子県議の仕事を引き継ぎ頑張ります。お力をお貸しください。



石川渉

日本共産党
しょう

令和5年4月9日執行

山形県議会議員選挙

山形市選挙区

選挙公報

山形県選挙管理委員会

一人を大切に！ 山形の未来を 創る確かな力！

3

つの

きくち文昭 チャレンジ!!



プロフィール

昭和38年10月生まれ
平成11年4月山形市議会議員(3期12年)
平成23年4月山形県議会議員(現3期)
【現在】
公明党山形県本部代表
山形ボクシング協会会長
山形市立鈴川小学校運営協議会委員
山形県喫茶飲食生活衛生同業組合顧問
隊友会特別会員



公明党公認
きくち文昭
ふみあき 59才

くらし・健康

- ◇国・県・市のネットワークで物価高対策を進め、県民の生活圧迫を解消します
- ◇奥羽新幹線整備促進と羽越新幹線早期実現で、人口交流活性化を目指します

防災・減災

- ◇最上川流域治水プロジェクトの推進で水害防止に取り組みます
- ◇ハザードマップの周知を促進し、県民の命を守る実効性ある取り組みを進めます

若者・子育て支援

- ◇出産・子育ての無償化を目指します
- ◇観光資源の保護・PRを推進し、インバウンド増加を進めます
- ◇奨学金返済肩代わり支援を拡充し、人材確保に努めます



持続可能な活力ある社会を

—対話する温もりの県政—

★経歴

1952年 尾花沢市市野々(山刀伐峠)の農家三男として誕生
1971年 県職員採用 教育、企画、商工労働、土木など、19年間にわたって県行政に携わった。
1991年 県職員を退職し、山形市議選でトップ当選。【以降2位、3位、2位で4期16年】
2007年 山形県議会議員に初当選。
【現在4期目】

★経歴

総務常任委員会委員、デジタル化・脱炭素社会対策特別委員会委員、立憲民主党県連代表代行、社民フォーラム県代表、南沼原連合町内会顧問

高橋けいすけ <http://www.keisuke-t.com/>

医療、社会保障(高齢者・子育て・福祉など)の充実

- 「こどもの権利条約」や「こども基本法」を活かした県計画の策定
- 地域医療体制の再構築と感染症対策の強化
- 障がい者の社会参加の促進(支援員の拡充)並びに賃金向上対策
- 地域包括ケアシステムの構築による医療・介護・住居の連携強化

雇用の安定対策

- 価格転嫁が困難な中小零細企業に対する支援
- 地元企業の育成、新産業の創出による若者の雇用拡大
- 非正規社員の正規社員への転換、同一労働・同一賃金による労働環境の改善
- ILO第1号条約^(※)を批准して、「過労死」や「ブラック企業」のない社会づくり(※)ILO第1号条約=労働時間を1日8時間とする1919年の条約だが、日本は未だに批准していない。

- 看護師、介護士、保育士等の処遇並びに労働環境の改善
- 教員の長時間労働の是正による人材確保対策

農業の経営安定対策

- 県産農産物のブランド化の推進、国内外への販路の拡大
- 青年農林漁業者への支援による担い手の確保・育成
- ICTやAIなどを駆使した「家族農業」(国連で採択された「家族農業の10年」)の推進

安全・安心の確保

- 脱原発社会に向けて、再生可能エネルギーの普及促進
- 河川の流下能力向上などによる災害の未然防止策の強化
- 防災教育、自主防災組織への支援等による地域防災力の充実・強化
- カーボンニュートラルの視点を踏まえた公共交通網の充実

山形らしい教育の推進

- 「生きる力」を育む探求学習の推進
- 不登校児童生徒への多様な学び場の提供と夜間中学の開設
- 特別な支援を要する児童・生徒に対する支援教育の充実
- 市町村との連携による小中学校給食の段階的無償化



高橋
けいすけ
立憲民主党公認

身を切る
議会改革!!

みんなの笑顔をつくります。

県民本位

政務活動費の大幅削減を提言します!

問題続出の政務活動費は税金です!

これまでできるだけ個人負担(私費)で活動をしてきました。今後も政務活動費の大幅削減を提言して参ります。

政務活動費収支報告書 残余額一覧

年度	吉村議員分(円)	残余額平均(円)
令和3年度	290万2千円	89万5千円
令和2年度	297万5千円	92万5千円
令和元年度	276万3千円	72万9千円
平成30年度	227万2千円	60万5千円
平成29年度	248万7千円	60万円

今後の取り組み

- 光熱水費や物価高とコロナによってダメージを受けている中小企業の支援を提言します。
- 賃金上昇や就労環境を改善し「ぶ厚い中間層」を作っていきます。
- 生産費増に苦しむ農業を支援し、農業県やまがたを強力に推進して参ります。
- 吉村知事の「子そだて費用の段階的無償化」に賛成し子そだて世代の負担を軽減し、少子化に歯止めをかけて参ります。
- 経営の厳しさを増している福祉施設を支援し高齢者が安心して暮らせる環境を整備します。



吉村
かずたけ
よしむら

令和5年4月9日執行

山形県議会議員選挙

山形市選挙区

選挙公報

山形県選挙管理委員会

大胆に! 力強く! 女性の声を県政に!

山形をもっと元気に!

プロフィール 諏訪洋子(すわようこ)
元山形市議会議員 / 山形中央高「僚友同窓会」前会長
「義姫の会」代表(歴史のまちづくり・東北6姫祭り主催)
地域を元気にする会長(市民外国語ガイド育成)
山形県女性起業家ネットワーク「女性ゆめネット」会長
山形市清住町内会女性部長
ライオンズクラブ地区F.W.T.コーディネーター(小児がん支援)
1963年3月23日(卯年生まれ)年女
[山形中央高等学校卒業 / 尚絅女学院短期大学(英文科)卒]



すわ洋子 ホームページ

1 やまがたを
活かす
特性や強みを活かし、PR下手の山形県を一步前へ。
● オリンピアン育成
(屋内スケート場新設など)
● 国際観光都市整備
(インバウンド対応促進)
● 農林業の次世代育成
(先端技術の導入で新規就労支援)

2 やまがたを
育てる
望む未来のための予算配分・子育て支援、特化した
食文化支援で、さらに光る山形県へと育てます。
● 教育費の無償化
● 行政のスリム化と財政の見直し
● 食文化・伝統野菜や新作物の振興

3 やまがたを
守る
「だれ一人取り残さないやまがた県」を創ります。
● 女性・子どもへの貧困支援
● 公営フードバンクをつくる
● コミュニティを元気に住みやすい地域に

日本維新の会 公認

コロナ後の山形をどうするか? 激変した意識、生活様式、仕事のスタイルを背景に、進む少子化・物価高騰の中でも持続力を備え、さらに光る山形の未来を創ります。時代の変化にこたえる新しい声を、山形県政にしっかりと届けます。

- スピードスケート・オリンピックの灯をつなぐ!
- 国道112号山形南道路の整備促進!
- 蔵王樹氷を世界遺産に!

今を守り、未来を育てる「やまがたSDGs」



すわ洋子

市民の想いを県政へ 夢をかたちに!

これまで、様々なことに取り組んでまいりました!

- 市内への「道の駅」設置を提言(市議時)→蔵王上山IC付近に工事中
- 子供たちや市民の皆様のご協力をいただいた「日本一の芋煮会フェスティバル」大鍋更新を提言(市議時)→平成30年3代目「鍋太郎」がデビュー
- 山形県における公金管理の効率化・増収化を提言
→企業局保有現金の債権運用開始により増収の見込み(10年間で約3.6億円)
- クリーンエネルギー水素の活用を積極的に提言中(継続中)
- 県民の安全安心に向けて、画像・動画による110番通報を議会で提言
→令和4月10月~全国運用されたシステムをPR中

これからの山形創造に向けて県と山形市の連携強化を!

- 山形市と連携して山形市内の公共施設の再配置
- 中心市街地の再興、山形駅前再開発の促進
- 鉄道インフラの土地利用政策・産業振興政策への積極活用
- 医療・介護・子育て・福祉と生活インフラを担う産業での人材確保・育成
- 災害に強い県土づくり
- ゼロカーボンシティに向けた水素エネルギーの利活用促進

あなたと 未来の山形を 創る!

略歴

昭和45年1月 / 山形市千歳生まれ
昭和60年3月 / 山形市立第四中学校 卒業
昭和63年3月 / 山形県立山形東高等学校 卒業
平成 4年3月 / 慶應義塾大学法学部法律学科 卒業
平成 6年3月 / 慶應義塾大学大学院法学研究科修士課程 修了
平成15年4月 / 山形市議会議員初当選 33歳 以後連続4期
平成31年4月 / 山形県議会議員初当選 49歳
現在 / 山形県議会議員1期目 53歳



遠藤 和典

子どもたちの未来のために!

- 1 少子化・人口減少問題解消のモデル県へ
出会い・結婚・妊娠・子育て、安心して子どもが健やかに成長できるやまがたへ
移住・定住・交流・関係人口の拡大と魅力ある観光地づくり
育児・保育の負担の軽減(出産支援金増額等)と働きやすい職場づくり / 女性の賃金向上と若者・女性の県内定着促進 / スポーツ・ミュージックツーリズムによる地域興し
- 2 豊かで美味しい山形の農・産業
山形ならではの地場産業の推進・やりがいのある農業へ
不安定な国際社会・経済環境から「県民の食」を守る / 土地改良事業の推進 / 県産農産物の更なるブランド化 / やりがいと収益力向上による後継者・若者就労者の促進
- 3 活気ある安全な街
災害に強い街づくりの整備
交通ネットワークの充実強化
山形南道路の早期着工 / 東原村木沢線、旅籠町八日町線街路事業整備促進
山形新幹線フル規格化 / 仙山線の高速度化 / 須川等河川改修(流下能力向上等)の促進
歩道整備による安全・安心の歩行空間の整備 / 県庁舎の中心市街地への移転
道の駅整備支援 / 中心市街地活性化

- スポーツ・文化芸術に親しむ環境の推進
県立博物館移転整備 / スポーツ施設整備(武道館・体育館・スケートリンク・プール等) / スポーツ振興と競技スポーツの強化 / 県指定文化財「打碓」馬場整備
 - 質の高い教育環境の推進
首都圏大学との連携強化 / 学習環境の整備
 - 高齢者・障がい者にやさしい福祉のまちへ
高齢者「地域包括ケアシステム」充実支援 / 障がい者賃金の向上 / 障がい者の就労・社会参加の拡大
 - 戦略的なエネルギー政策の整備・促進
再生可能エネルギーの供給基地化 / 分散型エネルギー資源の開発と普及 / 再生可能エネルギーを通じた産業振興
- あなたの声を県政に。
- プロフィール
- 昭和34年 山形市生まれ
 - 令和3年~4年 山形県議会 副議長
 - 十小・三中・山商(野球部)卒、
 - 山形県議会議員
 - 国土館大学政経学部(野球部)卒、
 - 山形県スケート連盟会長
 - 新聞善久県議秘書を17年間務める
 - 自由民主党山形県山形市第五支部支部長



奥山せいじ

自民党公認

令和5年4月9日執行

山形県議会議員選挙

山形市選挙区

選挙公報

山形県選挙管理委員会



梅津 ようせい

安心・安全な 山形に！



コロナ後の社会を構築する時がいよいよやって来ました。県都山形市の強みを活かし、新しい山形をつくる好機です。
初当選から2年2か月。まだまだやらねばならないことがあります。引き続き全力で取り組んでいきます。皆様の力を、梅津ようせいに託してください！

① 人づくりこそ地域づくり (県都山形市から人づくりの大きなうねりを！)

何をすることも「人」が基本。人材をつくるのが地域や国をつくることにつながります。スポーツや文化を軸に人づくりのための政策に取り組む！

② 災害に強いまちづくり(防災)

飯田、東沢、成沢、片谷地、中野地区など、土砂、河川災害への備えをさらに強化し、各地区での具体的な避難計画の策定で命を守る！

③ 「食料生産地」の確立と 林業再生・活性化(農林業)

水張り問題など農業をダメにする制度を改めさせ、小麦、そば、大豆などの研究投資を強化。林業の川下政策(住宅政策等)をさらに充実させよう！

④ 新型コロナ後の社会へ (産業基盤強化と観光振興)

デジタル化に乗り遅れないよう各産業を全面バックアップし、蔵王・山寺などへのインバウンド復活による賑わい創出政策を強化しよう！

⑤ 多様な社会ある社会は強く、 豊かな社会

子ども、高齢者、障がい者、引きこもりざるを得なくなった方々、LGBTQ等全ての皆様が生きやすい社会の実現を目指そう！



PROFILE

〈略歴〉山形市飯田在住 S42.2 生

山形市立蔵王一小、蔵王一中、
山形東高卒業
H2 慶應義塾大法学部卒業
防衛庁入庁

H5~6 米国ジョージ・ワシントン大学
(ワシントンDC) 客員研究員
H6~22 防衛省防衛政策課等勤務、外務省
生物・化学兵器禁止条約室長

H22.11 鹿野道彦農林水産大臣
秘書官(政務)
H28 舟山康江参議院議員 政策秘書
R3.2 山形県議会議員 初当選

〈主な役職〉

◆ 広報・広聴委員会副委員長、
私学振興議員連盟世話人
◆ 山形県行政書士会山形支部幹事
日本防災士会山形県支部長(山形県防災士会会長)

投票日 4月9日(日) 午前7時から 午後8時まで

(投票所によっては、投票できる時間に変更されているところもありますので、入場券などでご確認ください。)

期日前投票期間 4月1日(土)から4月8日(土)まで 期日前投票時間 午前8時30分から午後8時まで

(期日前投票ができる日時は、期日前投票所によって異なります。詳しくは、入場券などでご確認ください。)

感染症対策の観点から、投票所の混雑緩和のため、期日前投票の積極的なご利用をお願いします。

◇投票所では感染防止対策を徹底しています。

投票所では、定期的な換気、消毒液の設置、使用する物品等の消毒、高齢者等重症化リスクの高い方が訪れる会場での事務職員のマスク着用等を行っています。また、持参した鉛筆、シャープペンシルを使うこともできます。

◇親子で投票所に行きましょう。

まだ選挙権のない18歳未満のお子さんも、選挙権のある保護者と一緒に投票所に入場することができます。子連れ投票は、子どもの将来の投票につながります。ぜひお子さんと一緒に、投票所へ足を運んでみてください。

◇入場券をお持ちください。

投票所にお出かけの際には、入場券をお持ちください。

もし、入場券を忘れたときや、入場券が配られなかったときは、投票所の受付係に申し出ていただき、ご本人と確認されれば投票することができます。

